

プレスリリース

平成 19 年 9 月 5 日

各 位

103-0025
東京都中央区日本橋茅場町 2-8-7
ミヤジマビル 7 階
社団法人 日本毛皮協会
理事長 水野 昌一
品名統一委員会委員長 片桐 健司
TEL03-3663-1120 FAX03-3663-1439

「ラクーン」の表記に関して

拝啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は弊協会の活動にご理解ご協力賜り、厚く御礼申し上げます。

毛皮は、家庭用品品質表示法が適されておりませんが、消費者の購入時の目安となるよう、弊協会発行の「品名表示に関する規定」(昭和 63 年 5 月発行)にて、表記に関して指針を定めております。現在、内容が現状と合わなくなってきたため、同規定を改定する作業を進めております。

しかしながら、タヌキを「ラクーン」と表記することの不可に関して、多くのお問い合わせをいただき、この件に関して、他の項目に先んじて検討することとなりました。

昭和 63 年 5 月発行の「品名表示に関する規定」の中では、食肉目イヌ科のタヌキと食肉目アライグマ科のラクーンは、別種の動物として、別紙 1 のように記載されておりましたが、別紙 2 のような理由により、「この 2 種に関しては、産地を記入した後に、ラクーンと表記することとする。尚、日本産のタヌキは、タヌキと表記する。」との審議結果となりましたことお伝えいたします。

尚、前述いたしましたように、毛皮は、家庭用品品質表示法が適用されておりませんので、表記に関しては、任意となりますこと付け加えさせていただきます。

敬具

法 団 日 本 毛 皮 協 会

【食肉目】
(イヌ科)

① 代表品名	② 学名	③ 主な産地	④ 異名, 別名	⑤ 種類	⑥ 摘要
フォックス fox	<i>Alopex corsac</i> Linné	中国 ソ連		サンドフォックス Sand Fox コルサックフォックス Korsak (Corsak) Fox	
	<i>Urocyon cinereo argentatus</i> Schreber	北米 中米		グレイフォックス Grey Fox	
タヌキ Tanuki	<i>Nyctereutes procyonoides</i> Gray	日本 中国 ソ連 韓国		コリアンタヌキ Korean-Raccoon ロシアンタヌキ Russian-Raccoon チャイニーズタヌキ Chinese-Raccoon フィンランドタヌキ Finn-Raccoon	産地記入

【食肉目】
(アライグマ科)

ラクーン Raccoon	<i>Procyon lotor</i> Linné	北米	アライグマ		
ハサリスク Bassarisk	<i>Bassaricus astutus</i> Lichtenstein <i>Bassaricus sumichrati</i> Saussure	中南米	リングテール Ringtail	カコミシ Cacomixtle	

記

- 昭和 63 年以前及び当時は、世界の毛皮業界にて、この種類の中で最も流通していたものは、「日本産」であった為、日本名の「タヌキ」が英語名としても通用していた。
- フィンランドでは、ロシア産タヌキと同種の物を飼育し、「フィンラクーン」の名でオークションでの販売を昭和 50 年代からしている。
- 平成 5 年頃より、円高及び「フィンラクーン」の安定供給が原因で、日本産の狸の輸出が激減し、平成 10 年以降に日本産狸が輸出されることはほとんどなくなった。
- 「ロシアンタヌキ」は、ロシアのソユーズプシュニーナオークションにおいて、昔から「ロシアンラクーン」として売られている。
- 現在、世界市場で使われている名称は、「フィンラクーン」「ロシアンラクーン」「チャイニーズラクーン」であり、英語名を通常の呼称としている日本で、「タヌキ」を呼称とすることは、整合性を失う。

以上

【表記例】

チャイニーズラクーン/フィンラクーン/ロシアンラクーン
アメリカンラクーン/カナディアンラクーン